

ゴルフダイジェスト・スクランブルゴルフ

全国予選大会・・・7月～8月



< 競技の条件 >

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則と大会ローカルルールを適用します。

2. 使用球

競技者の使用球は日本ゴルフ協会発行による最新の「公認球リスト」に記載されているものでなければなりません(本競技ではワンボール条件は適用しません)。

3. 男性はレギュラーティ・女性はレディスティ(フロントティ)を使用してください。

27ホール以上のコースの場合には、専用スコアカードにOUT/INでまわったコース名をご記入下さい。

4. ホールとホールの間での練習

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークもしてはなりません。この条件の違反の罰は、次のホールに2打、最終ホールにおいての違反の罰はそのホールに2打が付加されてしまいます。ただし、ハーフターンの前は練習グリーンにおいてパッティングの練習は可能です(最近主流の素振り用の棒やバット等は、スタート後に使用すると失格になってしまいますので、ご注意下さい)。

5. 成績順位について

開催期間終了後の成績集計方法では、タイスコアの場合は、イーグル数 バーディー数の多い順から上位を決定します。それでも決定しない場合は 3名のチーム 女性の人数が多いチーム 18番ホールからのカウントバックとなります。

27ホール以上のコースの場合には、それぞれのコースの上位が地区決勝に進めます。

6. 競技終了時点

本競技は、全国予選大会のため、ゴルフ場へスコアカードを提出した時点で終了となるので、スコアカード見本を参照に提出前に不備がないかよく確認してから提出してください。

< スクランブルゴルフ基本ルール >

6. 電磁誘導カート用の2本のコンクリート軌道は、全幅をもってカート道路とみなす。

球がこのカート道路の上にある場合、競技者はゴルフ規則24-2b(i)を適用しなければならない。このローカルルールの違反の罰は、チームスコアに2打付加となります。

7. 使用禁止の表示のある予備グリーン(カラーを含む)がある場合は、プレー禁止の修理地(スルー・ザ・グリーン)とし、その上に球があったりスタンスがかかる場合、競技者は

25-1b(i)を適用しなければならない。

8. 樹木保護のための巻き網は樹木の一部とみなすが、球がその巻き網に挟まって止まった場合は、罰なしにその直下の地点から1クラブレンジ以内で、且つホールに近づかない個所に球をドロップすることができる。取り出した球は、拭くことができる。すぐには取り戻せない場合は別の球に取り替えることができる。
9. グリーン上に球がある時はパター以外のクラブの使用を禁ずる。
10. スルー・ザ・グリーン(砂地の場所を除くフェアウェイとラフ)のどこでも、自己の球がその勢いで自ら地面に作った穴(ピッチマーク)に食いこんでいるときは、その球は罰なしに拾いあげて、ホールに近づかず、しかも球の止まっていた地点にできるだけ近い個所にドロップすることができる。取り出した球は拭くことができる。
11. その他、参加ゴルフ場のローカルルールは特設ティ・1ペナを含めて、そのまま使用しますので、プレー前にスコアカードや掲示板でよくご確認ください。
ローカルルールの処置方法については、キャディさんにお聞き下さい。セルフプレーの場合は、上記と照らし合わせて、チーム内で正しい判断・処置をしてください。
罰が付く違反をしてしまった場合には、チームリーダーがスコアにプラスしてください。

< 競技の方法とルール >

スクランブル方式による18ホールズストロークプレー スクラッチ競技

全ホール全員がティショット(下記参照)を打つ。セカンドショット以降はその中からチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点(選択されなかったボールはすみやかに各自がピックアップし、その地点へ持ってくる)から、また全員が打つ。それをカップインまで繰り返していくシステム。

(1)ティショット～回数制限

ティショットにおいては、18ホールの内、1人最低4ホール(4ホール×4人=16ホール)を選択しなければならない(3名プレーの場合は1人最低5ホールとする)。

残りの2ホール(3名の場合は3ホール)は、チーム内の誰のティショットを選択しても構わない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできなかった場合は、1ホールに付き2打罰を付加する。

・注1)第1打において全員が「OB」の場合は、まず、誰のボールを選択したかを確認したうえで、第3打目として全員がティショットをする。但し、女性がいる場合は女性が打ち終わった後に、いない場合も全員がレディスティより第3打目を打つこと(男性4人チームでも進行上レディスティから打つこと)。

・注2)第1打において全員が「ハザード」(ウオーターハザードおよびラテラル・ウオーターハザード)に入った場合は、まず、誰のボールを選択したかを確認したうえで、第3打目として全員がティショットをする。

(ただし、ホールによってはローカルルールで特設ティグラウンドを使わなければならないこともあり、第 打目というのも、ローカルルールに従うものとする)

(2)ティショット～グリーン

ティショットは全員が打つ。セカンドショット以降は全員の中から1つのボール

(チーム内で考えたベストポジション)を選択し、その地点にティペグ(マーク)を置く。そのマークを中心にカップに近づかない直径60cmの半円内に自分のボールをプレース(良いライにおくこと可。ボールは拭くことができる)して、全員が打つ。打順は、チーム内で決める。それをグリーンオンまで繰り返す。

- ・ 注1) 選択されなかったボールは、各自がすみやかにピックアップする。
- ・ 注2) ラフにあるボールを選択したらラフに、バンカーならバンカー内にプレースすること。ただし、ラフとフェアウェイの境のラフ側のボールを選択した場合には、半円内にフェアウェイがかかっても、ラフにドロップすること。また、バンカーの場合は、ショットごとに砂を均すことができる。

(3)グリーン上

グリーン上では、選んだボールにマークする。そのマークはカップに向かってボールの右側に置く。そして、カップへ近づかない直径12インチの範囲内にプレースをし、順番にヒッティングする。打順は、チーム内で決める。はずした時は、近くでも続けてヒッティングをせず、必ずマークをして次の人に譲る。チーム内の誰かがカップインすればホールアウト。その時点でスコアが確定し、次の選手は打つことができない。打ってしまったら、練習ストロークとなり、2打罰となる。

- ・ 注1) ボールがふちで止まった場合、同じ人がタップインしないようご注意ください。

< 競技上の注意事項 >

1. 日本全国予選については大会基本ルールおよび、ゴルフ場ローカルルールに従ってください。
2. 距離計測機器を使用することができます。
3. 地区決勝・日本一決定戦については、ゴルフダイジェスト社が運営しますので、内容が若干変更する場合がございます。
予選通過チームには、あらためて詳細ご案内いたします。

競技方法、その他のお問い合わせは、下記までお願いします。

【 ゴルフダイジェスト・スクランブルゴルフ大会事務局 】

TEL:03-3432-1488(平日 10:00 ~ 17:00)